

2024年度 日本音響学会東北支部総会資料

支部長	工藤すばる
庶務幹事	渡邊 貫治
	森 翔平
会計幹事	藤岡 豊太
	能勢 隆

議題

- 1 2024年度 事業報告
- 2 2024年度 収支決算報告
- 3 2024年度 会計監査報告
- 4 支部役員等の改選および庶務幹事・会計幹事業務について
- 5 東北支部創立 70周年記念行事について
- 6 2025年度 事業計画案
- 7 2025年度 予算案
- 8 その他

1. 2024年度 事業報告

(1) 学術講演会

日本音響学会東北支部主催分：

学術講演会(日本音響学会東北支部主催)※

日時：2024年7月24日(水) 14:40-16:10

場所：東北大学工学部 復興記念ホール

講師：伊藤 彰則 氏 (東北大学大学院工学研究科 教授)

演題：「一人称 AI に向けた人間—機械間コミュニケーション」

開催形式：ハイブリッド

来聴者数：情報なし (ハイブリッド開催につき)

※共催については連合事務局廃止により情報入手ができず回数不明 (詳細を別紙1に記載)

(2) 電気関係学会東北支部連合大会 (主催)

2024年度電気関係学会東北支部連合大会

日時：2024年8月29日(木)～30日(金)

場所：秋田県立大学 (対面開催)

主催：電気学会東北支部, 電子情報通信学会東北支部,

照明学会東北支部，日本音響学会東北支部，
映像情報メディア学会東北支部，情報処理学会東北支部，
電気設備学会東北支部，IEEE Sendai Section
(主幹事学会：電子情報通信学会東北支部)

共催 : 秋田県立大学
講演件数 : 174 件
セッション数 : 29 セッション (IEEE student session, 企画セッション含む)
聴講参加者数 : 162 名
展示企業(団体) : 9 団体
賛助協力企業 : 8 団体
広告掲載企業 : 26 団体
特別講演会 : 日時 : 8 月 29 日 (木) 9:30~9:50
講演者 : 酒井 大雅 氏 (株式会社 NTT アグリテクノロジー
代表取締役社長)
講演タイトル : 「「農業×ICT」を通じた地域経済の活性化や街づくりをめざして」
参加費 : 無料 (一般公開)

(3) 東北地区音響学研究会 (主催. 別紙 2 参照)

第 7 回東北地区音響学研究会
日時 : 2024 年 11 月 23 日 (土) 12:40~17:40
場所 : 山形大学工学部 (米沢キャンパス) 4 号館 1 階 117 教室 (対面開催)
現地幹事 : 柳田 裕隆 (山形大学)
発表件数 : 13 件 (招待講演 2 件, 一般講演 11 件)
参加者 : 30 名

(4) 東北地区若手研究者研究発表会 (共催)

令和 7 年東北地区若手研究者研究発表会
日時 : 2025 年 3 月 8 日 (土)
会場 : 東北学院大学五橋キャンパス講義棟
主催 : 東北地区若手研究者研究発表会
「音・光・電波・エネルギー・システムとその応用」
(会長 : 佐藤文博, 顧問 : 中鉢憲賢)
共催 : 電気学会東北支部, 電子情報通信学会東北支部,
情報処理学会東北支部, 応用物理学会東北支部,
レーザー学会東北・北海道支部, 映像情報メディア学会東北支部,
日本音響学会東北支部, 日本表面真空学会東北・北海道支部,
照明学会東北支部, 日本光学会東北支部, 東北学院大学工学部
講演件数 : 150 件 (口頭発表 64 件, ポスター発表 86 件)
参加者 : およそ 250 人

(5) 研究会

延べ 5 日

電気音響研究会/聴覚研究会

開催日：2024 年 8 月 1 日（木），8 月 2 日（金）

場所：東北大学

音楽音響研究会

開催日：2024 年 10 月 5 日（土），10 月 6 日（日）

場所：八戸工業大学

超音波研究会

開催日：2024 年 10 月 22 日（火）

場所：東北大学

(6) 東北大学電気通信研究所一般公開（後援）

隔年開催のため 2024 年度は非開催

(7) 支部役員会

日時：2025 年 3 月 21 日（金）15:00～17:00

場所：Zoom によるオンライン開催

(8) 支部総会

日時：2025 年 4 月 16 日（水）13:00-14:30

場所：東北大学工学部電子情報システム・応物系 1 号館 2F 大会議室
及びオンライン（ハイブリッド開催）

(9) 選奨

日本音響学会東北支部若手研究者優秀論文賞（7件）

研究発表会：2024年度電気関係学会東北支部連合大会（2024年8月29日，30日）

評価委員：工藤すばる，伊藤慶明，田中元志，森翔平，藤岡豊太，木村敏幸，渡邊貫治

受賞者1：山田大晟（秋田大学）（講演番号：1F07-12-06）

「GMMを用いた日常生活音の確率モデル化に関する一検討」

研究発表会：第7回東北地区音響学研究会（2024年11月23日）

評価委員：工藤すばる，魚橋慶子，荒川元孝，森翔平，小坂哲夫，木村敏幸，藤岡豊太，渡邊貫治

受賞者2：田崎晃基（山形大学）（講演番号：7-2）

「歌声音源分離による自動採譜の検討」

受賞者3：矢口遥太（東北大学）（講演番号：7-9）

「容器内の液体へのHIFU照射により生じるキャビテーション気泡の超音波イメージングに関する基礎検討」

研究発表会：令和7年東北地区若手研究者研究発表会（2025年3月8日）

評価委員：工藤すばる，永幡幸司，伊藤仁，吉澤晋，福田誠，荒川元孝，森翔平，藤岡豊太，能勢隆，小坂哲夫，渡邊貫治

受賞者4：大野友暉（東北大学）（講演番号：YS-23-A04）

「End-to-End歌声合成におけるタイムラグモデルに基づく継続長推定」

受賞者5：新山晴斗（東北大学）（講演番号：YS-23-A06）

「複数散乱体の超音波後方散乱特性を用いた赤血球集合度評価における超音波ビーム焦域の大きさの検討」

受賞者6：小林清流（山形大学）（講演番号：YS-23-A10）

「少数音響パラメータによるニューラルボコーダの検討」

受賞者7：藤堂桜喜（東北大学）（講演番号：YS-23-A13）

「2D Matrix Array トランスデューサとLEDを用いた3次元光音響イメージングシステムの構築」

2. 2024年度 収支決算報告

令和6年度日本音響学会東北支部収支計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(収入の部)	R4年度 (実績)	R5年度 (実績)	R6年度 (決算)	R6年度 (予算)	摘要
1. 補助交付金	355,000	340,000	341,000	341,000	
支部送付金	351,498	334,999	336,680	336,680	
前年度源泉税支払額	3,502	5,001	4,320	4,320	
2. 事業収入	0	0	0	0	
講習会	0	0	0	0	
見学会	0	0	0	0	
その他事業収入	0	0	0	0	
3. その他の収入	11	11	604	10	
銀行利息	11	11	604	10	
当期収入合計(A)	355,011	340,011	341,604	341,010	
支部扱い前期繰越収支差額	1,130,360	1,204,241	1,194,452	1,174,558	昨年度からの繰越金
(源泉税本部預かり繰越額)	6,498	4,999	5,680	5,680	
収入合計(B)	1,491,869	1,549,251	1,541,736	1,521,248	
(支出の部)					
1. 事業費	256,465	263,824	212,663	330,000	
連合大会費	81,373	70,106	16,034	90,000	R6から事務局分も統合
講演会・見学会費	29,570	22,338	20,000	40,000	講演1回
研究会補助金	30,000	50,000	50,000	80,000	のべ5日間
若手研究者交流研究発表会	50,000	50,000	50,000	50,000	
選奨事業費	65,522	71,380	76,629	70,000	(証書ホルダー+賞金)×7
その他の事業経費	0	0	0	0	
2. 事務費	21,163	80,975	46,846	132,000	
総会経費	0	20,092	0	30,000	
役員会費	0	0	0	0	
文具消耗品費	0	0	0	1,000	
印刷製本費支出	0	0	0	5,000	
通信印刷費	10,328	1,623	9,796	6,000	
交通費	0	51,120	25,720	50,000	2名
会議費	0	0	0	0	
支部HP維持管理費	0	0	0	30,000	
諸手数料	5,885	3,190	6,050	5,000	振込手数料等
その他の管理費	4,950	4,950	5,280	5,000	学会誌製本代
3. 予備費	0	0	0	0	
支出合計(C)	277,628	344,799	259,509	462,000	
今年度支部源泉支払額(Δ)	5,001	4,320	2,274	0	
当期支出合計(D)	282,629	349,119	261,783	462,000	
当期収支差額(A)-(D)	72,382	△9,108	79,821	△120,990	
総額次期繰越収支差額(B)-(D)	1,209,240	1,200,132	1,279,953	1,059,248	
年度末本部預り次期繰越額	4,999	5,680	7,726	10,000	
支部会計次期繰越額	1,204,241	1,194,452	1,272,227	1,049,248	

3. 2024 年度 会計監査報告

令和6年度 日本音響学会東北支部 会計監査報告

令和6年度収支決算について会計監査を行い、適切な処理が行われたことを認めます。

日本音響学会東北支部

会計監査 氏名 福田 誠  令和7年 4月 9日

令和6年度 日本音響学会東北支部 会計監査報告

令和6年度収支決算について会計監査を行い、適切な処理が行われたことを認めます。

日本音響学会東北支部

会計監査 氏名 荒川 元孝  令和7年 4月 9日

4. 支部役員等の改選および庶務幹事・会計幹事業務について

別紙 3 に示される 2024 年度の支部役員において、☆印の役員が任期満了となる。

別紙 4 に太字で示す会員を 2025 年度改選役員候補者として信任投票を行い、当選となった。また会計監査について別紙 4 に示す会員を新たに候補とし、庶務幹事、会計幹事について別紙 4 に示す会員を再任候補とし、役員会の承認を得た（信任投票は不要）。

2025 年度役員選挙は、別紙 6 のように実施した。

5. 東北支部創立 70 周年記念行事について（別紙 9）

2025 年に東北支部が創立 70 周年を迎えることから、記念行事の実施を検討する。そのために、東北支部創立 70 周年記念行事実行委員会を設立する。東北支部創立 70 周年記念行事実行委員会には、実行委員長（1 名）と実行委員（複数名）をおく。実行委員長は支部長が指名し、実行委員は実行委員長が指名するものとする。

現在の案の概要は別紙 9 の通りである。

6. 2025 年度 事業計画案

(1) 学術講演会：主幹事 1 回

日時：2025 年 5 月 14 日（水）14:40～16:10
場所：東北大学電子・応物系復興記念ホール（ハイブリッド開催）
講師：門田 道雄（東北大学大学院工学研究科 シニアリサーチフェロー
（元村田製作所フェロー））
演題：高度情報化時代をかげで支える超音波デバイス
開催方式：ハイブリッド（対面・オンライン併用）またはオンライン

(2) 電気関係学会東北支部連合大会（主催）

2025 年度電気関係学会東北支部連合大会
日時：2025 年 9 月 2 日（火）～ 3 日（水）
会場：会津大学
開催方式：現地開催

(3) 東北地区音響学研究会（主催） 別紙 7 参照

第 8 回東北地区音響学研究会
日時：2025 年 11 月 1 日（土）
場所：東北工業大学
現地幹事：田村 英樹
開催方式：現地開催

(4) 東北地区若手研究者研究発表会（共催）

令和 8 年東北地区若手研究者研究発表会
日時：2026 年 2 月下旬～3 月上旬
会場：東北学院大学
開催方式：未定

(5) 研究会

合計 8 日程度予定

(6) 東北大学電気通信研究所一般公開（後援）

東北大学電気通信研究所一般公開 2025
日時：未定
場所：東北大学電気通信研究所
開催方式：未定

(7) 役員選挙

3月下旬：電子投票開始

4月上旬：電子投票締切

(8) 支部役員会

日時：2026年2月～3月頃

会場：オンライン

開催方式：オンライン

(9) 支部総会

日時：2026年4月下旬頃

会場：東北大学工学部青葉山キャンパス

開催方式：現地およびオンラインのハイブリッド開催

(10) 日本音響学会東北支部優秀論文賞・特別奨励賞の表彰

優秀論文賞は東北支部連合大会 2 件，東北地区音響学研究会 2 件，
若手研究者研究発表会 2 件程度

特別奨励賞は該当者がいる場合に限り若干名

(11) 東北支部創立 70 周年記念事業

- 記念式典&祝賀会
- 記念音響学研究会の開催
- 記念誌“70年のあゆみ—最近10年史—”の発行

7. 2025年度 予算案

令和7年度日本音響学会東北支部予算案

令和7年4月1日から令和8年3月31日まで

	R6年度 (予算)	R6年度 (決算)	R7年度 (予算)	摘要
(収入の部)				
1. 補助交付金	341,000	341,000	307,000	
支部送付金	336,680	336,680	304,726	
前年度源泉税支払額	4,320	4,320	2,274	
2. 事業収入	0	0	0	
講習会	0	0	0	
見学会	0	0	0	
その他事業収入	0	0	0	
3. その他の収入	10	604	10	
銀行利息	10	604	10	
当期収入合計(A)	341,010	341,604	307,010	
支部扱い前期繰越収支差額	1,174,558	1,194,452	1,272,227	昨年度からの繰越金
(源泉税本部預かり繰越額)	5,680	5,680	7,726	
収入合計(B)	1,521,248	1,541,736	1,586,963	
(支出の部)				
1. 事業費	330,000	212,663	530,000	
連合大会費	90,000	16,034	90,000	
講演会・見学会費	40,000	20,000	40,000	講演2回
研究会補助金	80,000	50,000	80,000	のべ8日間
若手研究者交流研究発表会	50,000	50,000	50,000	
選奨事業費	70,000	76,629	70,000	(額縁+賞金)×6
特別企画等事業費	0	0	200,000	70周年記念事業経費
その他の事業経費	0	0	0	
2. 事務費	132,000	46,846	132,000	
総会経費	30,000	0	30,000	役員交通費
役員会費	0	0	0	
文具消耗品費	1,000	0	1,000	
印刷製本費支出	5,000	0	5,000	
通信印刷費	6,000	9,796	6,000	
交通費	50,000	25,720	50,000	
会議費	0	0	0	
支部HP維持管理費	30,000	0	30,000	
諸手数料	5,000	6,050	5,000	振込手数料等
その他の管理費	5,000	5,280	5,000	学会誌製本代
3. 予備費	0	0	0	
支出合計(C)	462,000	259,509	662,000	
今年度支部源泉税支払額(Δ)	0	2,274	0	
当期支出合計(D)	462,000	261,783	662,000	
当期収支差額(A)-(D)	△120,990	79,821	△354,990	
総額次期繰越収支差額(B)-(D)	1,059,248	1,279,953	924,963	
年度末本部預り次期繰越額	10,000	7,726	10,000	
支部会計次期繰越額	1,049,248	1,272,227	914,963	

(別紙 1)

日本音響学会東北支部共催の学術講演会リスト

これまでは、電気学会、電子情報通信学会、情報処理学会、音響学会の共催として、回数を通し番号でカウントされたものを掲載していた。しかし、2024年度は、取りまとめていた連合事務局の廃止により情報を入手できない状態となった。他学会の状況を問い合わせたところ、共催として認識されていないか、これを機に総会での他学会の掲載を取りやめたことが確認された。また、正式な通知等がなく開催されており、共催という体裁を取ることに疑問の余地があるとも言える。

以上のことから、音響学会でも同様の対応を取ることとし、学術講演会は主催のもののみ掲載することとした。

(別紙 2)

第 7 回東北地区音響学研究会について

○概要

東北地区音響学研究会は、音の工学と科学に関わる東北地区の学生・研究者・開発者の交流を促進し、学問分野としての音響学の活性化を目的としています。音響学は超音波、音声、電気音響、聴覚、音楽音響、騒音・振動、建築音響、水中音響学、動物音響学など幅広い分野を扱っています。本研究会の特徴のひとつは、これらの専門分野の垣根を超えて、研究者・技術者間の情報交換の場を提供することにあります。また地域に根ざした小回りが効く研究会ですので、研究手法や結果だけでなく、その研究が持つ潜在的な価値や将来性についても率直かつ深く議論できます。さらに次世代を担う若手研究者を育成するという視点から、学部生や大学院生の研究発表を奨励しており、特に優れた研究は優秀論文賞として表彰します。

○詳細

発表形式：日本語または英語による口頭発表

発表時間：1 件あたり質疑・入替を含めて 20 分（発表 15 分，質疑約 5 分）

発表原稿：研究発表会フォーマットに基づく A4 版 2～4 頁の原稿

参加費：無料

○第 7 回東北地区音響学研究会

日時：2024 年 11 月 23 日（土）12:40～17:40

場所：山形大学工学部（米沢キャンパス）4 号館 1 階 117 教室（対面開催）

現地幹事：柳田 裕隆（山形大学）

発表件数：13 件（招待講演 2 件，一般公演 11 件）

参加者：30 名

○日程

2024 年 7 月 29 日 日程のご案内

2024 年 9 月 30 日 発表募集開始

2024 年 10 月 25 日 申し込み締め切り

2024 年 11 月 4 日 プログラム公開

2024 年 11 月 22 日 原稿締め切り

2024 年 11 月 23 日 実施

(別紙 3)

2024 年度役員及び幹事

(☆は 2024 年度任期満了の役員・幹事)

	氏名 (所属)		年次	期
支部長	☆	工藤 すばる (石巻専修大学)	2	
評議員	☆	齊藤 望 (アルプスアルパイン(株))	2	2 期目
	☆	伊藤 慶明 (岩手県立大学)	2	2 期目
	☆	Julián VILLEGAS (会津大学)	2	2 期目
		安部 信行 (八戸工業大学)	1	2 期目
		勝野 超史 (株式会社トーキン)	1	2 期目
	☆	魚橋 慶子 (東北学院大学)	2	1 期目
	☆	柳田 裕隆 (山形大学)	2	1 期目
	☆	永幡 幸司 (福島大学)	2	1 期目
		伊藤 仁 (東北工業大学)	1	1 期目
		吉澤 晋 (東北大学)	1	1 期目
		田中 元志 (秋田大学)	1	1 期目
会計監査	☆	福田 誠 (秋田大学)	2	
		荒川 元孝 (東北大学)	1	
庶務幹事	☆	渡邊 貫治 (秋田県立大学)	2	
		森 翔平 (東北大学)	1	
会計幹事	☆	藤岡 豊太 (岩手大学)	2	
		能勢 隆 (東北大学)	1	
顧問		大内 誠 (東北福祉大学)		R5～
		小坂 哲夫 (山形大学)		R5～
		濱田 幸雄 (日本大学)		R5～
		木村 敏幸 (東北学院大学)		R5～

(別紙 4)

2025 年度役員及び幹事

(☆は 2025 年度任期満了の役員・幹事)

(太字は新規就任候補役員・幹事)

	氏名 (所属)		年次	期	備考
支部長		伊藤 彰則 (東北大学)	1		
評議員	☆	安部 信行 (八戸工業大学)	2	2 期目	
	☆	勝野 超史 (株式会社トーキン)	2	2 期目	
		魚橋 慶子 (東北学院大学)	1	2 期目	
		柳田 裕隆 (山形大学)	1	2 期目	
		永幡 幸司 (福島大学)	1	2 期目	
	☆	伊藤 仁 (東北工業大学)	2	1 期目	
	☆	吉澤 晋 (東北大学)	2	1 期目	
	☆	田中 元志 (秋田大学)	2	1 期目	
	伊勢 友彦 (アルプスアルパイン (株))	1	1 期目		
会計監査	☆	荒川 元孝 (東北大学)	2		
		渡邊 貫治 (秋田県立大学)	1		
庶務幹事	☆	藤岡 豊太 (岩手大学)	1		主
		安倍 幸治 (秋田県立大学)	1		副
会計幹事	☆	能勢 隆 (東北大学)	2		副
		森 翔平 (東北大学)	1		主
顧問		大内 誠 (東北福祉大学)		R5~	
		小坂 哲夫 (山形大学)		R5~	
		濱田 幸雄 (日本大学)		R5~	
		木村 敏幸 (東北学院大学)		R5~	
		工藤 すばる (石巻専修大学)			
		齊藤 望 (アルプスアルパイン(株))			
		伊藤 慶明 (岩手県立大学)			
		Julían VILLEGAS (会津大学)			
		福田 誠 (秋田大学)			
		西村 竜一 (情報通信研究機構)			

若手教員の減少に伴い、現状の幹事体制の維持が困難になっている。今後、状況はさらに悪化することが予想されるため、持続可能な運営体制、幹事の負担の低減を目的として、2025 年度からの幹事体制の変更を検討する（昨年度総会資料より抜粋）。

検討の結果、東北大学以外の幹事を庶務幹事・会計監査、東北大学の幹事を会計幹事の分担とする。ただし、学術講演会や総会の会場予約など、東北大学で実施する企画は会計幹事が担当する（案の詳細は別紙 5）。

また、評議員に関しても後任候補の推薦が困難な状況となっており、新任を 1 名とする（11 名→9 名）。なお、東北支部規則より、支部評議員は 14 名以内とされており、下限は特に定められていない。

(別紙 5)

2025 年度以降の幹事体制について

1. 基本方針

- ・幹事 1 人あたりの総合的な業務負担を減らす。
- ・支部規則はなるべく改定せずに済むようにする。

2. 新体制案での幹事構成

- ・支部長: 1 名
- ・庶務幹事: 2 名【東北大以外】 (2025 年度案) 藤岡先生(主), 新幹事(副)
- ・会計幹事: 2 名【東北大】 (2025 年度案) 森先生, 能勢先生
- ・会計監査: 2 名【東北大以外※】 (2025 年度案) 荒川先生(2 年目), 渡邊(1 年目)

※荒川先生が現在会計監査(1 年目)なので, 2025 年度については荒川先生にお願いする。

3. 各幹事の業務分担内容

A. 東北大以外の幹事: 計 4 年間の担当

庶務幹事(1 年目, 副)→庶務幹事 (2 年目, 主) →会計監査 (2 年)

【庶務幹事】

- ・総会関係の資料作成, 当日の進行
- ・主催・共催などの学会・研究会関連業務
- ・選奨業務
- ・新幹事選出, 評議員の選出依頼など
- ・WEB 管理

【会計監査】

- ・会計監査 (2 年間)

B. 東北大側幹事

- ・会計業務 (賞状の郵送含む)
- ・学術講演会
- ・総会の会場予約, 出欠連絡 (選挙も?)
- ・メーリングリスト管理

4. 備考

- ・2025 年度は以上の案で実施し, 適宜修正していくものとする。
- ・東北大以外の幹事に関して, 新幹事を毎年選出する必要があり (これまでは 2 年に 1 回), 人手不足が懸念される。幹事 1 人あたりの総合的な負担は大幅に減っているので (会計幹事の担当がなくなる + 庶務の業務量も減っている + 任期が 6 年→4 年に短縮される), 正会員数の状況によっては幹事 2 週目の担当も視野に入れていただく必要があるかもしれない。

(参考資料) 支部規則での役員に関する規定

支部長 1 名
支部庶務幹事 2 名
支部会計幹事 2 名
支部会計監査 2 名

(1) 支部役員及び評議員の任期は 2 年とし, 再任を妨げない。

(2) 支部評議員, 支部庶務幹事, 会計幹事, 及び会計監査は 1 年ごとに半数を改選するものとする。

(3) 補欠による役員及び評議員の任期は前任者の残任期間とする。

(別紙6)

役員選挙について

2025年度の役員選挙は、以下のように行う。

1. 本部より東北支部の会員名簿を入手する。
2. 東北支部正会員メーリングリストを編集する。
3. 投票対象会員にフォームの URL を連絡し、役員選挙を電子投票で実施するように依頼する。
4. 投票対象会員は連絡したフォームの URL (Google フォームで作成) より投票する。
 - ・承認する候補者にチェックをする。
 - ・提示された候補者以外に投票したい場合には、候補者氏名を記載してもらう。
 - ・本人確認のため、会員番号とメールアドレスを入れてもらう。
 - ・投票後、本人にメールが自動送信される。
5. また、投票対象会員は連絡した別のフォームの URL (Google フォームで作成) で総会の出欠を連絡する。
 - ・欠席の場合には委任の承諾を得る。
 - ・連絡後、本人にメールが自動送信される。
6. 投票ならびに総会出欠確認の結果を取りまとめる。

なお、葉書での連絡は 2023 年度を最後とすることが総会にて決定された

(別紙 7)

第 8 回東北地区音響学研究会について

1. 開催地・現地世話人について

東北地区音響学研究会は、秋田→福島→山形→岩手→宮城→青森の順番に開催する方針としている。第 6 回（2023 年度）は青森県で開催予定であったが、現地世話人を願うことができる会員がいなかったため、順番を飛ばし、秋田県で開催した。第 7 回（2024 年度）についても、青森県の会員に現地世話人を願うことが困難な状況である。順番としては、次は福島県となるが、山形県、岩手県が前回はオンライン開催であったため、2024 年度は山形県での現地開催（またはハイブリッド）とした。

以上の経緯と現状現地世話人を願うことができる会員が不足している状況などから、来年度も必ずしも順番には従わないこととした。特に来年度は支部の 70 周年記念の年であるので、その記念事業の一つとして位置づけ宮城で開催することを検討している。

2. 開催日について

昨年度の総会にて、過去の開催日に縛られず、音響分野の各学会や各大学の学位審査の日程を考慮した上で、開催日を設定するとの議論がされた。第 7 回はそれを踏まえた上で、結果的にこれまでと同様 11 月下旬の開催となったが、第 8 回の日程も各学会・各大学の日程を踏まえて開催日を決定することとする。

(参考：過去の研究会)

第 1 回	2018 年 11 月 9 日	秋田大学
第 2 回	2019 年 11 月 30 日	福島大学
第 3 回	2020 年 11 月 28 日	Zoom によるオンライン開催
第 4 回	2021 年 11 月 27 日	Zoom によるオンライン開催
第 5 回	2022 年 11 月 30 日	多賀城市文化センター第 4 会議室&Zoom(ハイブリッド開催)
第 6 回	2023 年 11 月 25 日	秋田大学
第 7 回	2023 年 11 月 23 日	山形大学

(別紙 8)

東北支部規則

昭 54. 3.30 制定

昭 59. 5.24 改正

平 12. 4.19 改正

平 21. 5.13 改正

平 22. 4.21 改正

平 26. 4.23 改正

令 5. 4.19 改正

(名称)

第 1 条 本支部は、一般社団法人日本音響学会東北支部という。

(事務所)

第 2 条 本支部に事務所をおく。事務所の所在地は支部細則で定める。

(地域、構成)

第 3 条 本支部の地域は、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県(以下支部地域という)とし、支部地域に在住する本会会員をもって構成する。ただし、支部地域外に在住する会員でも、その在住地域に支部がない場合は希望によって本支部の会員とすることができる。

(役員、評議員)

第 4 条 本支部には、次の役員及び評議員をおく。

(役員)

支部長 1 名

支部庶務幹事 2 名

支部会計幹事 2 名

支部会計監査 2 名

(評議員)

支部評議員 14 名以内

第 5 条

(1) 支部役員及び評議員の任期は 2 年とし、再任を妨げない。

(2) 支部評議員、支部庶務幹事、会計幹事、及び会計監査は 1 年ごとに半数を改選するものとする。

(3) 補欠による役員及び評議員の任期は前任者の残任期間とする。

(役員、評議員の選出)

第 6 条

- (1) 支部長及び支部評議員は、支部正会員、終身会員及び支部に所属する名誉会員の中から互選によって選出する。
- (2) 支部幹事、支部会計監査は、支部役員会で選出し、支部総会の承認を受けるものとする。

(総会)

第7条

- (1) 支部通常総会は毎年1回、支部長が招集する。
- (2) 支部長は、必要に応じ、臨時支部総会を招集することができる。
- (3) 支部評議員の過半数が必要と認めた場合は、臨時支部総会を招集することができる。

第8条 次の事項は支部総会の承認を受けるものとする。

- (1) 支部の事業計画及び収支予算
- (2) 支部の事業報告及び収支決算
- (3) その他支部運営に関する重要な事項

(顧問)

第9条

本支部に顧問をおくことができる。顧問は、役員・評議員の経験者の中から支部長が指名する。顧問は、10名以内とする。

(支部役員会)

第10条

- (1) 支部役員会は支部長が招集し、支部役員及び評議員が出席する。
- (2) 本支部の前及び元支部長並びに支部評議員、及び顧問は、支部長の要請により、支部役員会に出席して意見を述べることができる。

(その他)

第11条 この規則に定めていない事項は、支部細則、並びに本会定款並びに支部通則に準拠するものとする。

付則

1. この規則は昭和54年4月1日から施行する。
2. この規則の改正は昭和59年5月24日から施行する。
3. この規則の改正は平成12年4月19日から施行する。
4. この規則の改正は平成21年5月13日から施行する。
5. この規則の改正は平成22年4月21日から施行する。
6. この規則の改正は平成26年4月23日から施行する。
7. この規則の改正は令和5年4月19日から施行する。

以上

(別紙 9)

日本音響学会東北支部創立 70 周年記念事業実行委員会(案)

委員長 工藤すばる(前東北支部長)
副委員長 伊藤彰則(東北支部長)
委員 田村英樹 (2025 秋季研発：現地実行委員)
荒川元孝
渡邊貫治
藤岡豊太
安倍幸治
能勢隆
森翔平

70 周年記念事業(案)

1. 記念式典&祝賀会

- 2025 秋季研発の懇親会 (9 月 11 日(木)) の一部として実施 (支部長の挨拶, 学会長祝辞)
- 現地実行委員長の伊藤先生, 田村先生 (東北工業大学) に打診する

2. 記念音響学研究会の開催

- 2025 年 10 月～11 月頃に実施予定の音響学研究会を記念行事の一つとする (総会にて 11 月 1 日 (土) に決定)
- 記念講演を依頼する

3. 記念誌 “70 年のあゆみ—最近 10 年史—” の発行

- 2025 年 12 月頃に発行予定 (紙での印刷はしない)
- 支部長挨拶(式典での挨拶を文字起こし)
- 学会長祝辞(式典での祝辞を文字起こし)
- 歴代 (最近 10 年) 支部長挨拶 5 名
- 寄稿(東北支部の会員から寄稿文 A4 で 1 枚程度を募る)
- 研究室紹介&賛助会員紹介(A4 で 1 枚程度)
- その他